

令和6年度 高校一般入学試験
進学コース

国語

(50分/100点満点)

《受験上の注意点》

1. 監督の先生の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 問題冊子は11ページ、解答用紙は1枚あります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 問題冊子・解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。
5. 問題冊子・解答用紙の回収については監督の先生の指示に従ってください。

受験番号	
氏名	

Kyoei 京都共栄学園高等学校

「一」次の文章をよく読んで以下の設問に答えなさい。出題の都合上、一部原文を改変した箇所があります。(60点)

この世に生まれてから今日までの人生を思い出してみてください。

様々な出会い、経験、それらがあなたに教えてくれたこと、今のあなたに導いてくれたこと。あなたに起こったことすべての瞬間が意味のあるものと変わるような、*ブレイクスルーを起こすきっかけとなってくれるのが逆境です。

逆境とは日常から、つまり私たちの外側から突然やってきます。

私たちの予測や意図していなかったこと、期待外れなこと、意外なこと、不快なこと、概念や信念の枠を超えたこと。それらの情報は逆境トライアングルを活性化し、私たちの記憶、感情、①思い込みに「待った」をかける作用を持ちます。

これは変化のタイミングというわけです。

変化の繰り返しにより、私たちは成長していき、より真の自分に気づき、さらに成長していこうとしていきます。人生という原稿に描かれる私たちの経験は、逆境により人それぞれの表現方法になり、最終的にはこの世に生まれていのちの数だけ異なった美しさを魅せてくれます。私たちが生まれてから死に至るまでその筆は一切止まることなく、一生を通して描き続けることとなります。

人生を通して、一つの逆境体験ともう一つの逆境体験が点と点のようにつながり、またさらに線と線がつながり、面になり、そしていつしか私たちの本質は立体的でダイナミックになっていきます。その姿が見えてきた時、歩んできた人生の意味を悟ります。

これから向き合うことになる逆境は、ステップを踏むことにより、その存在意義が理解できるようになり、ついにはあなたという人生について様々なことを教えてくれるようになります。そのなかの一つが X として開花するかもしれません。

逆境があなたに教えてくれることは大きく分けて二つあります。

それは「自分の内側を発見する力」と「自分の外側を創造していく力」です。

内側を見る力は、自分を知ること(インプット)として成長を促します。

自分を知るためにあなたの②内側に勇気を出して、飛び込んでいくことが必要です。ある意味、孤独になって内観していくことが重要となります。

孤独を感じると脳内ホルモンの③タキキニンが放出されます。「孤独を力に変えるタキキニン」です。タキキニンは一般的には孤独ホルモンともいわれ、一人の時間が続くことによって放出されるホルモンです。内側を覗いて今の自分の姿を観察するには、孤独という状態はじつはとても最適な環境です。

タキキニンは一見してあまりよくない印象を与えますが、実は内観力を高めるうえでなくてはならない重要なホルモン。孤独は怖い、面倒くさいと思っただけでも先送りしていると、そこにはただ年齢を重ねているだけのあなたがいることになってしまいます。

たとえば、コロナ禍に孤独を感じた方も多いのではないのでしょうか？ このコロナ禍という時間は、自分を知るのに最適なタイミングともいえるかもしれません。

闇の中にたたずみながらも、隙間から輝く光を探していく、つまりは現状を打破するための進化に必要なプロセスともいえるでしょう。

逆境体験でより深いあなたに触れて、*コンフォートゾーンを広げて、よりよい未来を描いてみてください。そうすれば常に進化したあなたに出会えるはずですよ。

④逆境が教えてくれるもう一つのこと、この世界にあなたの世界を融合させて、いかに貢献できるか（アウトプット）です。

自分の世界観を社会に浸透させていくことによって、よりよい世界を創造していきます。この過程では他者との絆が大切に なってきて、脳内にはオキシトシンが放出されます。こちらは「つながる力のオキシトシン」でしたね。

私たちがこの世に生を受けた瞬間を想像してみてください。きっと、たくさんの人に、祝福や愛を受けて、絆を感じたこと でしょう。オキシトシンに満たされているはずですよ。

対して死が訪れる時はどうでしょう？

体が不自由になり、記憶が衰退していき、孤独になっていく。なかには痛み、苦しみも患いながら息絶えていく方もいまし

た。脳内にはタキキニン全開モードです。そんな死の姿をこれまで何度か目にするようになりました。

これは僕が現在お仕事させていただいている現場で見た超高齢社会の現実です。

ここで何を言いたいのかというと、死を喜びで迎えるためのコツです。

それは、いかに自分を利己的意識から解き放つことができるか、これにつきまます。

つまり、利他的意識です。その比率が上がれば上がるほど、私たちは恐れではなく、喜びにシフトできるようになります。そして、さらに多くの人に喜び、感謝、愛を伝える伝道者となります。逆境という体験を通して私たちは、利己発見を極めて、そのあとに利他的思考を高めていくのです。

簡単にいうと利己意識は自分に誇りを持ち、自分自身にどれだけたくさんのありがとうを伝えられるかどうか、利他意識は、全てのどんな人にもありがとうを伝えられるかということなんです。

その両者があなたに成長を届けてくれます。

⑤利己的思考が満たされたのち、利他的思考があなたの意識に占める割合が高くなっていくのです。そうやっていくとあなたの中で湧き上がってくるあらゆる恐れはなくなっていくことでしょう。死に対する恐れをも解き放ってくれるでしょう。じつはその時にはあなたはもはや孤独ではありません。反対に利己的であることにこだわりすぎると、生にしがみついているばかりに、孤独と恐れにとらわれてしまいます。

利他的意識であれば周りに感謝することができ、あなたの脳内にはオキシトシンによって満たされた穏やかな死を迎えることができます。同じオキシトシンに満たされているとはいっても生まれた時とはちよっと違う喜びの感覚になるでしょう。

これからの超高齢社会に向けて、健康寿命を延ばしていくためにも、たとえ肉体が衰えていっても、私たちに利他的意識があふれている限り、あなたがこの世で幸せになる道が開いていくのではないのでしょうか。

皆さんの人生の最後の一息が笑顔（肉体）と喜び（心）で迎えられますように。ぜひ、Yを手に入れて、人生をピカピカに磨き上げていきましょう。

（川崎康彦『ハーバードで学んだ 逆境の脳科学』）

*ブレイクスルーⅡ従来の壁を突破する画期的な出来事。

*コンフォートゾーンⅡ心理的に安心できる領域。

問一 傍線部①「思い込みに『待った』をかける」とはどういうことですか、次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア これまで思い込んでいたことに対して、本当にそうなのかと考え直す機会をくれるということ。
- イ 思い込みをしてしまう前に、今一度正しいかどうか再検討するチャンスをくれるということ。
- ウ これまではいろいろと思い込みをしてきたが、今後は思い込みをしないようにしてくれるということ。
- エ これまでとは違い、今回は思い込みをする前に、やめた方がいいと助言してくれること。

問二 空欄 × に入れるのに最も適当な漢字二字の語を書きなさい。

問三 傍線部②「内側に勇気を出して、飛び込んでいく」とはどういうことですか、次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分を知るために自ら孤独になって孤独を十分に感じることで、逆に孤独に打ち勝つ勇気を得ていくということ。
- イ 先送りしてきた孤独に勇気を出して飛び込み、これまでとは違うより深い自分の内面を観照しようとする事。
- ウ これまで怖がり、面倒くさがっていた孤独という環境に進んで身をおいて、その環境にある自分の外見を観察すること。
- エ 逆境に向き合い孤独に打ち勝つためには、まずは勇気を持って自らの内側を発見することが必要だということ。

問四 傍線部③「タキキニン」とありますが、どのようなホルモンですか、三十五字以内で説明しなさい。

問五 傍線部④「逆境が教えてくれる」こととは何ですか、そのすべてを端的に述べている箇所を本文から三十字以内で抜き出し最初と最後の三字（記号なども一字に数える）を書きなさい。

問六 傍線部⑤「利己的思考が満たされた」とはどういう状態ですか、次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の世界観を社会に浸透させていくことによって、よりよい世界を創造していけるようにま でなった状態。
- イ 逆境という体験を通して利己発見を極めて、そのあとに利己的思考を高めていけ ばいいだけになった状態。
- ウ 恐れではなく喜びにシフトできるようになって、利己的思考が自分の意識に占める割合が 高くなっている状態。
- エ 自分に誇りを持つことができるようになり、自分自身にたくさんの方がとうを伝えられる ようになった状態。

問七 空欄 Y に入れるのに最も適当な漢字二字の語を本文中から抜き出しなさい。

6. 進. 国

〔二〕 傍線部の漢字を含むものをア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

① くわしい説明はハブく。

ア 委員会からジョガイされる。

イ 自分のしでかしたことについてモウセイする。

ウ ハイスイロの工事をする。

エ 愛社セイシン。

オ 学年ごとにセイレツする。

② 友人がアラワした本。

ア ゲンバを仕切る。

イ トクテンヒヨウを見比べる。

ウ ケンザイ化する。

エ 口コミな塩対応。

オ チョメイ人。

③ 政策のイトを説明する。

ア 登場するタイミングをハカる。

イ 面積をハカる。

ウ 相互の連携をハカる。

エ 容積をハカる。

オ ムボウな作戦。

④ 気がキく人。

ア ヒャクブンは一見にしかず。

イ 容疑者にジンモンする。

ウ シチョウカク室から出る。

エ リエキ誘導をする。

オ シゲキが強すぎる。

⑤ 教室の空気がヤワらぐ。

ア ナンスイを飲む。

イ コウワ条約を結ぶ。

ウ 学校生活がジュウジツしている。

エ 旅館にシユクハクする。

オ 病気のカイフク期。

三次の文章をよく読んで以下の設問に答えなさい。出題の都合上、一部原文を改変した箇所があります。(30点)

①震災を経験した世代が正直うらやましいんです。東日本大震災当時に小学校五年生だった青年は、控えめな声でそう言った。アーティストを指摘しているという彼は、上の世代の表現者たちがこぞって震災に影響を受けたと語るのに対して、自分にはそういう原体験がないから、アーティストになれないのではないかと思悩むのだという。わたしはその悩みのみずみずしさに触れながら、いやいや、震災はたしかに大きな出来事だったけど、経験したか **A** かでその人という存在そのものが決定的に変わってしまったわけではないと思うよ、というようなことをしどろもどろに伝え、もしかしたらわたしたちは②震災の語り方を間違ってきたのかもしれないなあ、と感じていた。

二〇一一年三月一日。あるふつうの午後に震災が起きた。それをどの距離で経験したかという差はあるけれど、突然の出来事を消化しきれなかったわたしたちは、日々語らい、あるいは語れなくとも情報を取り入れ、思考を重ね、その経験の特別さを強調することで納得し、その後の一〇年あまりを生きてきた。大変すぎる出来事だからといって情報すらシャットアウトする者もいたけれど、それもまた強い反応だった。

そんな状況にあつて、とくに表現者は、その衝撃に向き合う、あるいは反発するプロセスの中で作品を形づくり、発表してきた者も多いため、何か問われれば、震災に影響を受けたという語り方になる。けれども、青年が思い描くように、災禍を経験したからアーティストの資格が得られる(そうでなければ得られない)ということではなかったはずだ。

一〇年という歳月は、わたしたちの語りを傍らで聞いていた年若い人に、大きな誤解を与えてしまう。できることがあればいままらでもやりたいと **X** 息巻く青年に、その誤解が生むポジティブな力を感じつつ、わたしは記憶を遡る。

震災はまぎれもなく大きな衝撃だったけれど、それを経験した人びとは特別な存在ではなかった。ふつうの人びとがふつうの日に災禍に遭い、生き残った者たちがその後を生きてきた。もちろん、大切な人や財産を失ったり土地を追われたりし、それまでとはまったく異なる生活を余儀なくされた人もたくさんいて、大変な苦難を生き抜いてきた彼らを特別ではないと言い切つてよいのか、戸惑うところはある。けれど、すくなくともわたしが震災後の沿岸部を歩いて知ったのは、どんなに辛く苦しい経験をしたとしても、③それ以前の生活とその後の人生はただ地続きであるという現実だった。

たしかにこの巨大な衝撃は、いわゆる「被災者」ではない人たちにも大胆な行動を起こさせ、それまでにはなかった考え方や選択肢を手に入れる契機をつくった。まちのあちこちで震災そのものや政治について議論が交わされていたし、ボランティアのために車を走らせたり、支援活動に従事するうちに移住したりする者もいた。わたしもいち美大生でありながら、④翌年には岩手県陸前高田市に移ったので、特別な行動をしたと捉えられることがある。

けれど実際は、当時は大学院生で時間がたっぷりあって、足繁く被災地域に通っているうちに、東京よりも陸前高田に居たくなって住み着いたという感じで、もしかた同じことが起きても移住まではできないだろうと感じている。だから、彼が想像するのはすこし違う気がするけれど、すでに憧憬を描いている人に、その細かな差異を伝えるのは難しい。それに、必要に迫られて自分の行動を繰り返して説明しているうちに、わたし自身の語り方も過剰に物語的になっていったようだと思いがつく。

わたしは青年の語りを反芻しながら、戦中世代の親を持ち、高度経済成長期にあたる一九五九年に生まれた女性の語りを思い出していた。―わたしが生まれたのは終戦からたった一四年後ですけど、それでも戦争はずっと昔の出来事だと感じていました。彼女は幼少期の記憶を丁寧^{はんすう}に思い返ししながら、そんなふう^{はんすう}に語り始めた。

でも、だからこそわたしたちには、戦中世代に対する葛藤があったと思います。大人たちはみんな戦争を経験しているけど、結局生き残った人たちなんですよね。それで、戦争をどこか懐かしそうに語る感じがあった。あの頃は食べものもなく大変だった。いまの時代がどんなに恵まれているのか。いつもそうやって比較されてきました。わたしたちが戦争を経験していないのは幸福なことですが、戦争という共通体験を持っている大人たちが、どこかうらやましかった。経験していない⑤後ろめたさの一方で、疎外感というか、越えられない壁を感じていました。

彼女はわたし（一九八八年生まれ）の親と同世代で、わたしはこの語りを聞いたとき、だからうちには祖父母の語りを抑圧するよ^うな空気があったのか、と腑に落ちるようだった。父の両親との二世帯住宅では、祖母はいつももつた^{かす}いと言っていてヨーグルトのカップさえも取っておこうとしたし、祖父は聞き取りづらい掠れた声で戦地の悲惨を語り続けていた。父母と、父母のふるまいを見て育ったわたしたちきょうだいは、祖父母の話^{おはな}を聞くことを億劫^{おっくう}がった。大切な話だとわかっている。けれどいまは戦中とはまったく違う生活環境だから、当時の感覚を押し付けられても困ってしまう。その苦勞を経験していない引け目と、いくら共感しようと思っても歩み寄ったとしても、わかるとは言わせてもらえないことへのもどかしさがあった。

（瀬尾夏美「災禍を語る声を訪ねて」）

問一 傍線部①「震災を経験した世代が正直うらやましいんです」とありますが、なぜ「うらやましい」のですか。次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分にはない、自分という存在が決定的に変わる体験を、震災を経験した人は持っていると思っているから。

イ 自分はアーティストを目指しているが、震災を経験していない自分は絶対にアーティストにはなれないから。

ウ 小学校五年生の時点ではまだアーティストを目指しておらず、せっかくの経験が原体験とはならなかったから。

エ 上の世代の表現者たちのように、震災に影響を受けたと震災を経験したことのない世代に語れないから。

問二 空欄 A に入る語を、漢字一字で答えなさい。

問三 傍線部②「震災の語り方を間違ってきた」とありますが、筆者自身はどう間違っていたのですか。そのことを具体的に述べている一文の最初の三文字を答えなさい。

問四 二重傍線部 X 「息巻く」の意味として最も適当と思われるものを後の選択肢の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア 息遣いを荒くする。

イ 気炎をあげる。

ウ ひどく憤慨する。

エ しょんぼりする。

問五 傍線部③「それ以前の生活とその後の人生はただ地続きである」とはどういうことですか。次の中から最も適当と思われるものを一つ、選び記号で答えなさい。

ア 地震の前後で多少住居の位置は変わったけれど、そう離れてはいない場所で人々は新しい生活をスタートしたということ。

イ ふうふうのんびりがふうふうの日に災禍に遭い、遭った後も以前と何一つ変わらないふうふうの日々を生きていたということ。

ウ どんなに辛い経験をしたとしても、人はそれをすぐに忘れ、さも経験しなかったかのように生活していくということ。
エ 被災した人の生き方が劇的に変わったということではなく、それまでと同様に現実に向き合って生きていたということ。

問六 傍線部④「翌年には岩手県陸前高田市に移った」とありますが、筆者はなぜ「岩手県陸前高田市に移った」のですか。本文の言葉を用いて四十字以内で説明しなさい。

問七 傍線部⑤「後ろめたさ」とほぼ同じ意味で用いられている語を本文中から三文字で抜き出しなさい。

*採点に使用します

三

二

一

問七		問六	問五	問四	問三	問二	問一

①
②
③
④
⑤

問七	問六	問五		問四	問三	問二	問一

受験番号
氏名

令和6年度 高校一般入学試験 「国語」 京都共栄学園高校・進学コース

*採点に使用します

採点

*採点に使用します

4

6 4 4 4 4 4

10

8 8 8

12 8 8 8

三							
問七		問六	問五	問四	問三	問二	問一
引	た	ち	足	エ	イ	そ	否
け	く	に	繁			れ	か
目	な	`	く			に	
	っ	東	陸				
	た	京	前				
	か	よ	高				
	ら	り	田				
	°	も	市				
		陸	へ				
		前	通				
		高	っ				
		田	て				
		市	い				
		に	る				
		居	う				

- ① イ
- ② オ
- ③ ウ
- ④ エ
- ⑤ イ

一							
問七	問六	問五		問四	問三	問二	問一
逆	エ	ン	内	孤	イ	才	ア
境		自	°	観	独	能	
		分		力	を	能	
		く		を	感	力	
		カ		高	じ	・	
		ー		め	る	資	
				る	と	質	
				働	脳	・	
				き	内	素	
				を	に	質	
				す	放		
				る	出	な	
				ホ	さ	ど	
				ル	れ		
				モ	`		

受験番号	
氏名	

令和6年度 高校一般入学試験 「国語」

京都共栄学園高校・進学コース

*採点に使用します

採点
